



34th JSCRS

# 白内障手術 による 老視矯正 眼内レンズ



宮田眼科病院

座長

宮田 和典 先生

1984年 久留米大学医学部卒業  
1984年 東京大学医学部眼科入局  
1986年 東京大学医学部眼科助手  
1991年 医学博士(東京大学)  
1991年 東京大学医学部眼科講師  
1994年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学  
1997年 医療法人明和会宮田眼科病院副院長  
1998年 東京大学医学部眼科非常勤講師  
1999年 医療法人明和会宮田眼科病院院長  
2000年 宮崎大学(前宮崎医科大学)臨床教授  
2008年 医療法人明和会理事長、宮田眼科病院院長

眼内レンズの進歩により、白内障手術は、矯正視力を取り戻すことから良好な裸眼視力を提供する、さらに、老視により失われた調整力を挽回することが可能となっている。遠近視力が得られる2焦点のアイデアは1980年代に遡るが、現在では、焦点深度を拡張した眼内レンズも登場している。一方、老視矯正眼内レンズの使用には術後屈折は正視が必須となる。そのため、度数計算に求められる精度が飛躍的に高くなった。従来のSRK/T式だけでは予測屈折誤差 $\pm 0.5$  D以下に収めることは容易ではなく、先進の検査機器の使用に加えて、新世代の計算方法を用いることが求められている。さらに、複数の近方加入度数、多種の光学デザインが使用可能となり、患者のニーズにあった眼内レンズの選択も重要である。本セミナーでは、現在の老視矯正眼内レンズを理解する上で重要な3つのポイントをエキスパートに講演していただく。



六本木 柴眼科

眼内レンズ 進化の歴史

柴 琢也 先生



等々力眼科

老視矯正眼内レンズに  
求められる度数計算

瀬津 直久 先生



ツカザキ病院

多様な加入度数の  
老視矯正眼内レンズ選択

野口 三太郎 先生

20190629 Leaflet\_1

本会ランチョンセミナーは  
整理券制となります。

配布日時：6月29日(土) 7:30～11:30(※無くなり次第、終了)  
配布場所：京都市勤業館みやこめっせ 1F 第2展示場内

1) 整理券の発行にはネームカードが必要です。おひとり様一枚限り、開催当日のみの発行となります。 2) 整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。 3) 配布時間終了後、整理券が残っている場合は、各セミナー会場前で配布します。 4) 整理券はセミナー開始と同時に無効となります。 5) 各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から、優先的にご入場いただけます。 6) 整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況により、ご入場いただける場合があります。